



B

O



O

K

S



iOS版
APP

らくらく心電図トレーニング

iPhone/iPad/iPod touch対応

赤石 誠/監修・編者 栗田 康生/制作協力・出題



メディカ出版
価格/7,400円(税込)

より鮮明な画質で
スマホやタブレット時
代に対応

新たに、iOS版の開発に
取り組まれた経緯をお知ら
せください。

まず、ニンテンドーDS®は、

ニンテンドーDS®の医療従事者用ソフトウエアとして19万本以上を出荷した「メディカDSソフトシリーズ」(メディカ出版)。(今では7タイトルが発売され、医療従事者の学習シーンにその姿が多々見受けられるようになった。その新たな展開として、iPhoneやiPadなどのアプリケーションとして使えるiOS版『らくらく心電図トレーニング(英語モード付き)』が配信開始された。DS版に引き続き監修を手掛けた北里大学北里研究所病院副院長/循環器内科部長/情報管理センター長の赤石誠さんに、さらにバージョンアップしたアプリの特長や使い方のポイントをうかがった。

時には、流れていくのを止めたり、さらに拡大させたりすることもできます。もう1点、ハイパーリンクという機能によって、文章中の用語をタップすることで、さらに詳しい解説に飛んでいけるようになります。「これは何だっけ?」と疑問を抱いた時には、すぐに情報をたどっていただけるので、より理解を深めることができます。DS版にもあった機能ですが、より完全な形で縦横無尽に展開できるようにしました。このため、解説項目も15項目ほど新たに追加しています。

楽しみながら知識が身に着くような仕組みになっています。

リアルなサイズとスピードですから、例えば、この心拍は速いな、遅いなといった、直感的なイメージをつかむ訓練にも使えます。遊びながら学べる「シリアスゲーム」という領域で、医療分野での先駆けであったと思います。



ニンテンドーDS®以上にコンパクトな
サイズで持ち歩くこともできますね。

iPhoneは携帯電話ですので、まさに持ち歩くことを想定したものです。心電図を学びたい人が、かしまって教科書を広げるのではなく、ちよっとした空き時間ができた時に、アプリを立ち上げてトライしてみることができるのは大きな利点で、時間が有効に使えます。また、ポケットに入れておけば、現場で事典のように使うこともできます。

専門家のお墨付き
未来を先取りするツール

専門医のお墨付きですから、安心して使えますね。



赤石 誠さん

野では先行しているiPhoneやiPad用のiOS向けに、開発することになりました。

徹底的にリアルさを追求
リンク先の解説も充実

今回、特に工夫されたのはどのような点
でしょうか。

特にこだわりがあったのはリアルさで、心電図を実寸と変わらない大きさで表示して、5mmのマス目が1秒間に25mmという実物と同じスピードで流れていくようにすることでした。ここは妥協を許さず、正確さを追求しました。

小さな画面の中に実寸大の画面をどのように入れるかについては、色々と検討を重ねましたが、iOSでは、縦の画面を瞬時に横に回転することができるので、それに連れて画面を実寸大に拡大表示させました。さらに、じっくり見たいという



我々が執筆して、出題して、監修もしているので、そういう意味では、医学書と全く同じと言ってもよいでしょう。アプリには無料や安価で出回っている物も色々ありますが、そうした物とは根本的に責任の取り方が異なります。182もの心電図の波形と事典で何百ページにもなるであろう書籍を、コンパクトに持ち歩く感覚ですので、それなりにお得感があります。とりわけ、心電図は命にかかわるものですが、安心してお薦めできます。

英語モードが付いているので、英語も同時に学ぶことができますね。

心電図を取っかかりにして、医学英語を学ぶという目的でも使えます。国際化の時代に、専門用語や簡単な言い回しを英語で覚えておけば、損にはなりません。DS版から始まったこのアプリの開発ですが、DS版を既に持っている人でも、こちらをもう1回手に取ってみてください。進化した点分かり学習がより深められます。

このアプリは、近未来の医療現場におけるツールを先取りしたものになっていることは間違いありません。

ゲーム感覚で遊びながら
直感的に心電図を身に付ける

ゲーム感覚で楽しく知識が身に付くのが
良い所ですね。



本と異なるのは、どこから読んでも最後まで行き着くようになっていくことです。アプリを立ち上げると、「読み方コッ事典」と「チャレンジアタック」という2つのメニューが表示されます。「読み方コッ事典」を最初から読むのは根気が入りませんが、「チャレンジアタック」で、心電図の実例に触れながら、自然に「読み方コッ事典」も読み進められ